

明治安田生命・千葉興業銀行による 2024年度の協働取組みの実績



◇両社連携協定に基づく2024年度取組み実績～全体俯瞰

1

- 2024年6月に締結した、「『地方創生およびSDGs』に関する連携協定」に定める連携事項に沿って、**24の協働取組み**を実施。予定した**創出効果を達成**するとともに、**地域住民・地元企業の個別ニーズへの対応も円滑に進展している状況**

「地方創生およびSDGs」に関する連携協定（連携事項と取組内容）

取組実績(()は取組数)

(1) 産業振興および観光振興など地域経済活性化に関すること

○県内企業の生産性向上・組織の活性化や持続可能な成長・発展への支援

- ・両社の取引先をはじめとした、**県内企業のカーボンニュートラルや健康経営等に関するセミナーの開催**
- ・**県内中堅・中小およびベンチャー企業に対する、テクノロジー等の活力のレベルアップを目的とした顕彰制度や、地域社会の発展・活性化も視野に入れた地方創生等に資するファンドの設定（中期的取組み）**
- ・県内特産品や当行取引先企業の商品・サービス、および観光に関するPR

P2・3

- ①「法人等交流会」の共催(6)
- ②「千葉市健康づくり推進事業所」認定の共同案内(1)
- ③「道の駅キャンペーン」の展開(1)
- ④【参考】当行への「健康経営優良法人」認定の取得支援(1)

(2) 健康づくりの推進に関すること

○地域の方々が生き生きと暮らせる健康づくりへの支援

- ・リーグ等クラブチームや県ゲートボール連盟の試合等、**地域のコミュニティでの健康チェックイベントの開催**
- ・当行本支店内や関連・取引先企業での健康チェックイベントの開催

P4

- ①地域コミュニティ、および興銀杯ゲートボール大会での「健康チェック測定会」の共催(共同ブース出展)(5)

(3) その他、地方創生およびSDGsの推進に関すること

- ・両社が推進する地方創生・SDGsに関する取組みへの相互協力（**NISAセミナー（※）**・金融経済保険教育・地域の伝統文化の承継等）（※）主に**公民館で開催**
- ・両社従業員間での地方創生・SDGsに関する**情報交換交流会の開催**

P5

- ①「円貨・外貨＋NISAセミナー」の共催(9)
- ②両社従業員間での**人財交流ワークショップ**の開催(1)

予定
創出効果

協働による支援企業数
(情報連携・コンサルティング支援)
年間約**300**企業

協働による地域の方々との接点数
年間約**6.0**万人

2024年度
の創出効果

上記取組みで左記内容について、
429企業・約**6.5**万人
への情報連携等を実現(累計24取組み)

◇両社連携協定に基づく2024年度取組み実績～(1)地域経済活性化①

- 産業振興に関する「地域経済活性化」事項では、「法人等交流会」の開催等を通じて接点を有した企業に対する、「**カーボンニュートラル**」・「**健康経営**」等の経営有効情報を提供

協働取組み

取組概要

顧客接点の状況

(1)地域 経済活性化

①法人等 交流会 の共催

【24/9～11】

【社会的価値】

- 両社の取引先企業を中心に産業振興に向けて、異業種交流会を通じた新たな取引先の紹介や、カーボンニュートラル・健康経営等の中小企業経営に関する有効情報を両社が提供

【経済的価値】

- 各種コンサルティング、および福利厚生等に関する支援について、両社が展開中

【千葉地区異業種交流会や明治安田岡田千葉本部長(上左)・当行松丸副頭取(上右)・同白井専務(下右)によるご挨拶、および同杉浦取締役による基調講演の様子】



案内数計約**4,600**企業(人)

交流会参加

企業等計**429**企業

千葉 地区(10/9) **137**企業

船橋 地区(9/30) **79**企業

柏 地区(11/11) **101**企業

木更津地区(9/ 4) **32**企業

銚子 地区(10/2) **30**企業

成田 地区(10/9) **50**企業

②「千葉市 健康づくり推進 事業所」認定 の共同案内

【24/10～
25/3】

【社会的価値】

- 従業員の健康づくりに取り組む千葉市内に本社・支社等を有する事業所に対して、市の認証取得による経営フォローアップ体制等に関するアナウンスを両社が実施

【経済的価値】

- 各種コンサルティング、および健康経営認定支援等に関する支援について、両社が展開中



●支援企業数

【目標】
300企業

【交流会
取組実績】
429企業

◇両社連携協定に基づく2024年度取組み実績～(1)地域経済活性化②

- 観光振興に関する「地域経済活性化」事項では、**県内の「道の駅」や地域の特産品等の紹介・PR**を展開。その他の取組みとして、**明治安田生命による当行への「健康経営優良法人」の取得支援**も実施

協働取組み

取組概要

顧客接点の状況

(1)地域 経済活性化

③道の駅
キャンペーン
(Go To 道の駅)
の展開
【24/7～9】

【社会的価値】

- 県内からセレクトした道の駅ならではの商品のプレゼントを通じて、**県内特産品や観光**に関してPR
- あわせて、**県の子育て支援政策「チーパス事業」**を紹介

【経済的価値】

- 両社営業網・ツール(※1)を通じて、商品応募者さまへの**個別ニーズに沿った幅広い情報提供**を両社が展開中
(※1) 当行が展開する情報提供サイト「**ちばトク!**」を活用



「道の駅キャンペーン」チラシ
配付数計**約2.5万人**
＜7～9月末(両社)＞

「ちばトク!」
Xリポスト数**約2.5万人**
PV数 **約0.5万人**
＜7～9月末(当行)＞



●地域の方々との接点数

【目標】
6.0万人

【道の駅CP
取組実績】
5.5万人

【参考】

④当行への
「健康経営
優良法人」
認定の取得支援
【24/7～10】

【社会的価値】

- 「SDGs」の推進に取り組む金融機関として、従業員や求職者、関係企業等から、**いっそうの社会的な評価を受けることができる組織体制の整備**（「健康経営優良法人」(大規模法人部門)の取得）
(今後は、グループでの同取組みも検討)

【経済的価値】

- 中小企業等におけるSDGs推進を喚起する切り口の一つとなり、関連する**銀行ビジネス（SDGsコンサルティング）の拡大**に貢献

（大規模法人部門）
銀行本体



（中小規模法人部門）
銀行関連会社



◇両社連携協定に基づく2024年度取組み実績～(2)健康づくり推進

- 県民に対する「健康づくり推進」の事項では、両社の地域コミュニティでの明安の「健康チェック測定会」の共催を通じて、社会的つながりの提供や健康増進支援を展開するとともに、**銀行コンテンツの活用による顧客接点のボリュームアップ**を図る

協働取組み

(2)健康づくり推進

①地域コミュニティでの「健康チェック測定会」の共催（共同ブース出展）

[24/9～25/3]

取組概要

【社会的価値】

- 地域コミュニティでの「健康チェック測定会」活動のさらなる活性化(※2)による参加者の健康増進支援
(※2) 銀行コンテンツの活用（「1億円のレプリカ」（10kg）を紹介・持っていただき、両社のバックパネルを背景に記念撮影を実施。そののち、測定会へ誘導）

【経済的価値】

- 「健康チェック測定会」参加者さまへの個別ニーズに沿った幅広い情報提供を両社が展開中

【道の駅（上：むつざわ、下：富楽里とみやま）でのブース出展の様子】



顧客接点の状況

「健康チェック測定会」の共催(共同ブース出展)
案内チラシ配付数計

約**3,000人**

測定会参加者数

開催地区計 **379人**

千葉 地区 **74人**

柏 地区 **151人**

千葉南地区 **52人**

成田 地区 **102人**

【興銀杯ゲートボール大会での健康チェック測定会の開催】

【社会的価値】

- 「第35回 千葉興業銀行杯 親善ゲートボール大会」（県ゲートボール連盟との共催）運営のさらなる活性化と参加者の健康増進支援

【経済的価値】

- 大会参加者さまへの個別ニーズに沿った幅広い情報提供を両社が展開中



● 地域の方々との接点数

【目標】
6.0万人

【測定会
取組実績】
0.3万人

◇両社連携協定に基づく2024年度取組み実績～(3)地方創生・SDGs推進

5

- 「SDGs推進」等の事項では、**未来世代の支援や地域社会の持続的な発展**に向けて、「**金融教育のレベルアップ**」に加えて、両社による地方創生等の取組みが効果的に進められるように、**協業について中長期的視点から検討する「人財交流ワークショップ」**を開催

協働取組み

取組概要

顧客接点の状況

(3) 地方創生・SDGs推進

①「円貨・外貨 + NISA」セミナーの共催
【24/7～25/3】

【社会的価値】（公民館等で開催）

- 県民に対して、人生100年時代を豊かに暮らすための「資産形成ポートフォリオ」に関する情報提供や、「金融リテラシー」のいっそうの向上を支援

【経済的価値】

- セミナー参加者さまへの個別ニーズに沿った幅広い情報提供を両社が展開中



【千葉地区での「年金・NISAセミナー」の様子】



「円・外貨 + NISA
セミナー」の開催
案内チラシ配付数計
約2,500人

セミナー参加者数
開催地区計 **155人**
千葉 地区 **68人**
船橋 地区 **40人**
柏 地区 **15人**
千葉南地区 **16人**
成田 地区 **16人**

【社会的価値】

- 両社による発展的な地方創生・SDGsの取組みを通じた、地元企業・県民の課題解決への継続的な貢献

【経済的価値】

- 各地域での両社のコミュニケーション・連携の深耕による、協働ビジネスの拡大
(※3) 40歳代前後の両社選抜メンバー(当行:支店長・営業部長10名、明安:業教部長・ブロック長等10名)が、中長期的な視点から今後の協業メニュー等について検討する研修会を開催



●地域の方々との接点数

【目標】
6.0万人

【NISAセミナー
取組実績】
0.25万人

②人財交流
ワークショップ
の開催(※3)
【24/12/3】

